

山形県図書館協議会報告書の概要
「県立図書館の将来のあり方について」

はじめに（巻頭言） 山形県図書館協議会委員長 佐多不二男氏（東北文教大学教授）執筆
【 将来のあり方検討の背景、協議の過程等についての所感を記述 】

I 現状と課題 【別紙資料参照】

- 1 施設の現状等
- 2 利用状況
- 3 県民意向調査結果等の概要
- 4 これまでの取組みと今後の対応

II 基本理念・基本目標

1 基本理念

◀ 県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点 ▶

県立図書館は、県内市町村図書館(室)及び関係団体と連携し、多様な読書機会の提供と積極的な情報提供・発信を通じ県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献し、県全体の発展に寄与する知の拠点を目指していくものとする。

2 基本目標

◎ 基本目標1 県内図書館の中核的役割の発揮

県内の市町村図書館(室)及び学校図書館、各種機関・団体等との連携強化に努め、本県全域の図書館サービスの向上を主導し、県内図書館の中核的役割を発揮する施策に取り組んでいく。

◎ 基本目標2 県民ニーズ実現のための積極的支援

行政、民間団体、企業等と連携を図りながら、県民に読書機会を積極的に提供するとともに、社会の変化に対応しながら県民の知的ニーズと課題解決を支援する施策に積極的に取り組んでいく。

◎ 基本目標3 県民本位の利用しやすい図書館づくり

多くの県民に利用されるようサービス内容の拡充、利便性の向上やにぎわい創出のための取組みの推進等不断の図書館改善に取り組んでいく。

III 目標達成のために取り組むべき施策 【別紙資料参照】

- 1 「県内図書館の中核的役割の発揮」に関する施策
- 2 「県民ニーズ実現のための積極的支援」に関する施策
- 3 「県民本位の利用しやすい図書館づくり」に関する施策

IV さらなる活性化に向けて

【 図書館のみならず、併設する施設も含めた広い視点に立った検討の必要性を提言 】

I 現状と課題

1 施設の現状等

施設規模、蔵書数、図書資料費等いずれも他県に比べ小規模であり、また、司書資格を有する正職員が少ないなど、物的、人的に充実が望まれる。

2 利用状況

利用状況は、他県に比べやや低位の状況にあり、利用拡大に向けた積極的な取り組みが必要である。

3 県民意向調査結果等の概要 (H26年4～5月実施、県民471名・35図書館室回答)

県民からは、休館日が多い、駐車場がない、入館時に手荷物を預けなければならない煩わしさなどを改善してほしいとの要望があった。

また、県内市町村図書館(室)からは、指導・研修等支援機能の充実、郷土資料の収集保存と情報発信の積極的な実施等が求められていることが分かった。

4 これまでの取り組みと今後の対応

近年の新たな取り組み(下記)に加え、基本理念、基本目標、施策の検討が必要

- ・館内レイアウト(新聞・雑誌コーナー等)の変更
- ・遊学館連携展示、山形ゆかりの作家コーナー等の設置
- ・高等学校訪問(高校生の新規利用者登録を推進)
- ・「赤ちゃん絵本コーナー」(親子の読み聞かせスペース)の設置
- ・Facebookページ開設
- ・「雑誌スポンサー制度」の創設
- ・図書貸出点数の上限を引き上げ(6点から10点)

III 目標達成のために取り組むべき施策

1 「県内図書館の中核的役割の発揮」に関する施策

- 専門書や郷土資料の収集拡充、図書資料費の確保
 - ・体系的な専門書の購入、郷土資料の書誌情報の充実、図書資料費確保への配慮
- 市町村図書館(室)に対する支援の充実
 - ・実務研修の実施、先進的な取り組みの情報提供、県民の関心を高める企画の実施
- 学校図書館との連携の推進
 - ・市町村図書館(室)との役割分担の明確化と高等学校図書館との連携強化
 - ・大学図書館との連携による企画・イベント共催の検討
- 団体貸出の範囲の拡大
 - ・学校、福祉施設、病院、行政機関等の公的機関や民間団体等への団体貸出の実施
- 調査相談(レファレンス)機能の拡充
 - ・研修による職員の能力向上、専門機関との連携、積極的な広報の実施
- 職員体制の改善
 - ・司書資格を有する職員の長期在籍の配慮、司書専門職採用の将来的な検討
- 職員(司書)研修の充実
 - ・最新の情勢・知見に接する機会の拡大、館内研修・OJTの充実

2 「県民ニーズ実現のための積極的支援」に関する施策

- 地域の課題解決の支援・民間団体との連携の促進
 - ・県民の課題解決に資する企画展示、イベント等の実施
- 子育て支援機関・団体との連携による読育の推進
 - ・やまぎん子ども館等子育て支援機関・団体への団体貸出の促進
 - ・読み聞かせ会・体験講座の情報共有、イベントの共催の実施
- 行政課題解決の支援・行政機関との連携の促進
 - ・図書館活用の積極的PR、関連図書展示等による支援の実施
- 電子媒体の積極的活用の推進
 - ・貴重な郷土資料のデジタル化の実施、電子書籍導入の検討
- 積極的な情報発信による認知度の向上
 - ・館内報、ホームページ、フェイスブック等による定期的な情報発信・提供の拡充
 - ・テレビ、新聞、各種広報誌、フリーペーパー等の積極的活用
- ボランティアの導入等図書館運営への県民参加の推進
 - ・ボランティア導入の実施、雑誌スポンサー制度による企業との関わりの強化

3 「県民本位の利用しやすい図書館づくり」に関する施策

- 開館日の増加等利用機会の拡大
 - ・祝日となる月曜日の開館に向けた早期実施の調整
 - ・蔵書点検の効率化・特別整理期間（10日間）の短縮による開館日の増加
- 手荷物・飲料持込みの解禁
 - ・無断持出検知システム導入による手荷物持込みの解禁
 - ・新聞・雑誌コーナーへの蓋付き飲料持込みの解禁
- 蔵書管理の充実による利便性の向上
 - ・閉架書庫の蔵書点検と燻蒸の実施、マイクロフィルムの閲覧機器の更新
 - ・遊休スペース活用の検討、定期的な閉架書庫見学ツアーの実施
- インターネット・複写サービスの利便性向上
 - ・Wi-Fi導入、国会図書館デジタル化資料利用環境整備、カラー複写機設置の検討
- 高齢者や乳幼児同伴者への配慮
 - ・大活字本・朗読CDコーナーの設置、防音に配慮した子供読書室の検討
- おもてなしの雰囲気づくり
 - ・図書館を演出する統一的なデザイン採用・館内BGM放送の検討
- にぎわい創出につながる仕掛けの展開
 - ・館内でのイベントの定期的開催、館内全体のレイアウトの見直しの検討
- 図書館情報システムの改善
 - ・横断検索システム統合による利便性改善、利用者本人限定の貸出履歴機能の導入
- 駐車場利用の改善
 - ・近隣駐車場の確保・県営駐車場の無料利用時間拡大の検討

~~~~~ これまでの経過 ~~~~~

平成25年度	2/25	第1回図書館協議会（検討開始の協議）
平成26年度	4～5月	県民（県立・市立図書館来館者等）・市町村図書館（室）意向調査
	5/27	第1回図書館協議会（中間報告の協議）
	9月	図書館協議会委員個別訪問（意見聴取）
	3/18	第2回図書館協議会（報告書の協議・決定）